

大庭小学校 1年・学年経営案

●つけたい力の具体像と学年経営の取組

	自分で考え表現する力 	自分も人も大切にできる力 	がんばりぬく力 
学習	○自信をもって表現できる。 ・「読む」「書く」「話す」経験を重ね、様々な表現方法を知る。 ○読み・書き・計算の基礎的な力と学習ルールを身につける。 ・掲示物などを使って姿勢や鉛筆の持ち方等を繰り返し練習する。 ・基礎的な内容を繰り返し練習し力を伸ばす。	○人の話を目・耳・心で聴くことができる。 ・体（おへそ）を向ける、顔（目）を見る、静かに聴くなどよい聴き方が身につくように指導する。 （話を聴く＝相手を大切にする） ○誰とでも仲良く活動することができる。 ・ペアやグループの活動を取り入れ、よい関わりを広げる。	○何にでもチャレンジする。 ・がんばれば実現できそうな目標や自己選択の場面を設定して、頑張ろうとする姿を認め励ます。 ・足跡を掲示等で残し、自分の頑張りが見えるようにする。
生活	○気持ちのよいふるまいが分かり、実行できる。【ふるまい名人】 ・人や場に応じたあいさつ、言葉遣いをみんなで考えたり、モデルを掲示したりする。 ○自分の気持ちを相手に伝えることができる。 ・困ったこと・嬉しかったことなどを周りの大人や友だちに伝えられるような雰囲気をつくる。	○自分のことが自分でできる。 ・朝や帰り、学習準備や片付けの手順や時間を示し、定着を図る。 ○自分や友だちのことを知り、あたたかく接することができる。 ・一人ひとりの頑張りやよさを褒め、周りへ伝えることで温かい見方関わり方ができるようにする。 ・トラブルの時は橋渡し役となり、自力解決ができるよう見守る。	○目標やめあてをもって生活することができる。 ・生活目標や学年目標を掲示したり、「がんばりカード」を活用したりしながらよい言動を意識づける。 ・今までの頑張りを認めたり褒めたりしながら、最後まで頑張りぬくことができるように励ます。

●自己決定する個別最適な学び実現の取組（GIGAスクール含む）

○指導の個別化

- ・「ひらがなアセスメント」などを活用して把握した児童の実態に応じて「課題の量や質」を設定する。

○学習の個性化

- ・課題への取り組みやまとめの段階で選択肢を示し、自分で「選ぶ学び」を体験させる。
- ※何を（調べたい・知りたいこと）、どのように（調べ方）、誰と（個人またはグループ）

●学年担任制の取組

- | | |
|--|---|
| ☐ 授業交換（ゆるやかな教科担任制） | ☒ 朝の会・帰りの会・給食などのローテーション |
| ☐ ローテーション道徳 | ☒ 算数 TT 及び習熟度別などの学習 |
| ☐ 学習進度や学習方法で集団を作る学習 | ☐ その他（ ） |
| ☐ 学年全体での自由進度学習 | |

●その他

○ICT の初歩的技術、ルールやマナーの指導を行い、授業の中で使えるようにする。